

製造業XML推進協議会 活動報告

橋向 博昭

Hiroaki HASHIMUKAI

製造業XML推進協議会 運営委員会 副委員長

株式会社 山武
アドバンスオートメーションカンパニー
CP事業本部



製造業XMLフォーラム2004 MfgX 活動状況報告

MfgX 運営委員会 副委員長
橋向博昭 (株式会社 山武)

製造業XML推進協議会 憲章

製造業の活性化、競争力強化のためには、製造業が対象としている膨大な情報をXMLにより統合/連携することが必要である。この実現に向けて、本協議会においては、製造業分野におけるXMLの利用に関心を有する産業界、学术界の多くの有識者の参加を得て、工場等の生産現場における各種サブシステムのXMLによる統合/連携を中心に、密接に関係する製品設計分野等の他のサブシステムとのインタフェースをも視野に入れ、XMLの活用の可能性を検証するとともに、その共通仕様の作成や普及等に関する活動を行う。

この目的達成のため、本協議会は、以下の基本的な原則のもとに活動する。

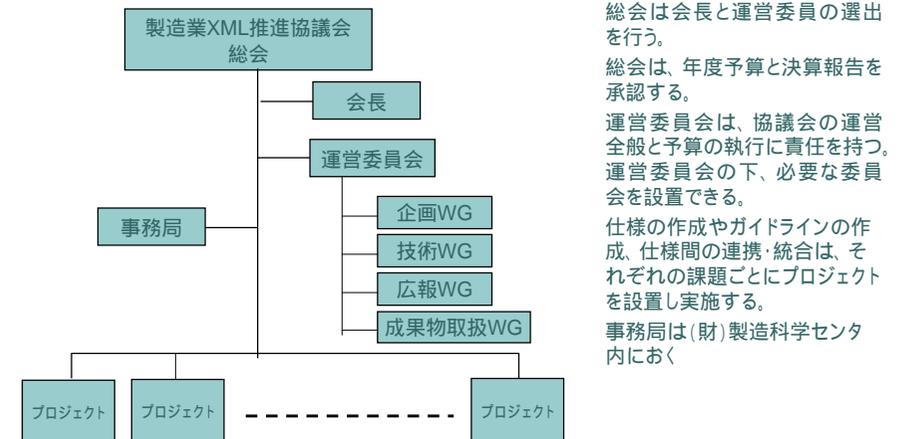
- ・標準化の考え方
情報通信分野においては、既に確立している国際標準やデファクトスタンダードが多数存在する。また、現在も将来に向かって多数の標準化推進活動が国内外で行われている。これらの標準や標準化活動を極力尊重するとともに、新しい標準化課題についても積極的に取り組んで行く。
- ・ユーザーズの尊重
オープン化は、あくまでユーザ主導で進められなければ活きたものにはならない。従って、ユーザーズを仕様で反映させるための活動に重点をおく。
- ・活動成果の公開
本協議会の活動で得られた成果は、公開され広く関連業界で活用されてこそ、本協議会会員であるユーザ、ベンダがメリットを享受できるものであるため、公開を原則とする。

製造業XML推進協議会 ロゴマーク

製造業XML推進協議会



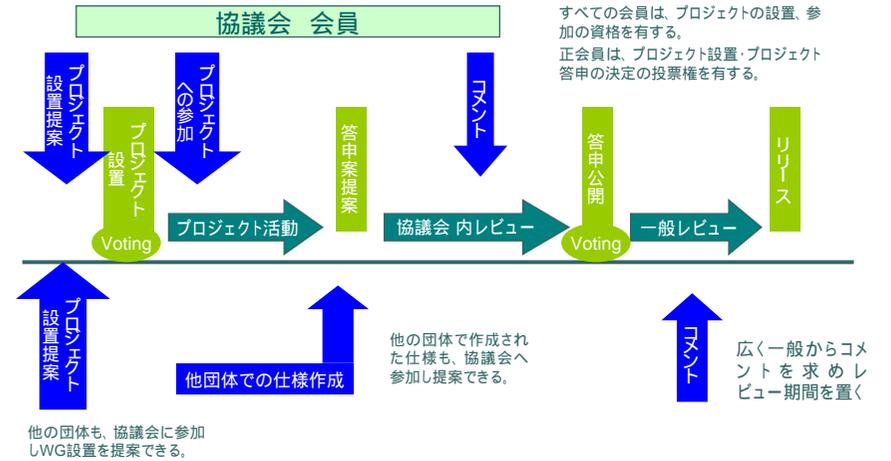
製造業XML推進協議会組織図



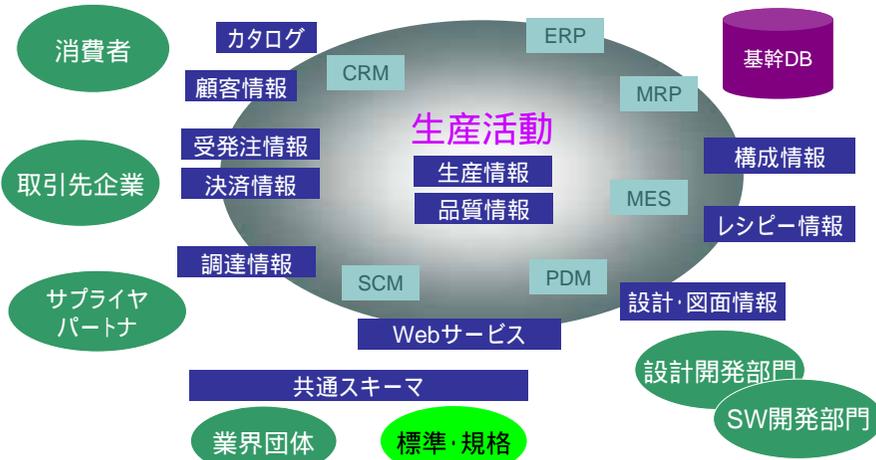
会員状況

- 正会員 (25)
 - (株)イッソーポレーション、岩井機械工業(株)、(株)NTTドコモ関西、FAオープン推進協議会、オムロン(株)、クオリカ(株)、(株)デジタル、(株)テブシステムズ、(株)東芝、東洋エンジニアリング(株)、日揮(株)、OPC協議会、日本電信電話(株)、日本プロセス(株)、(株)日立製作所、PSLXコンソーシアム、ファナック(株)、富士アイティ(株)、富士電機(株)、マイクロソフト(株)、三菱電機(株)、(株)明電舎、(株)山武、横河システムエンジニアリング(株)、横河電機(株)
- 準会員 (11)
 - (財)機械振興協会技術研究所、技術知識基盤構築機構、SICE - IA 計測・制御ネットワーク部会、SICE - SI、(独)産業技術総合研究所、CC - Link協会、JavaのIA応用および組込み応用研究会、ジャパンパッチフォーラム、(株)日本電気計測器工業会、(社)日本プラントメンテナンス協会、(社)日本ロボット工業会
- 個人会員 (12)
 - (個人名は非表示)
- 協力団体 (1)
 - XMLコンソーシアム
- 学会会員 (3)
 - 新誠一[東京大学]、福田好朗[法政大学]、西岡靖之[法政大学]

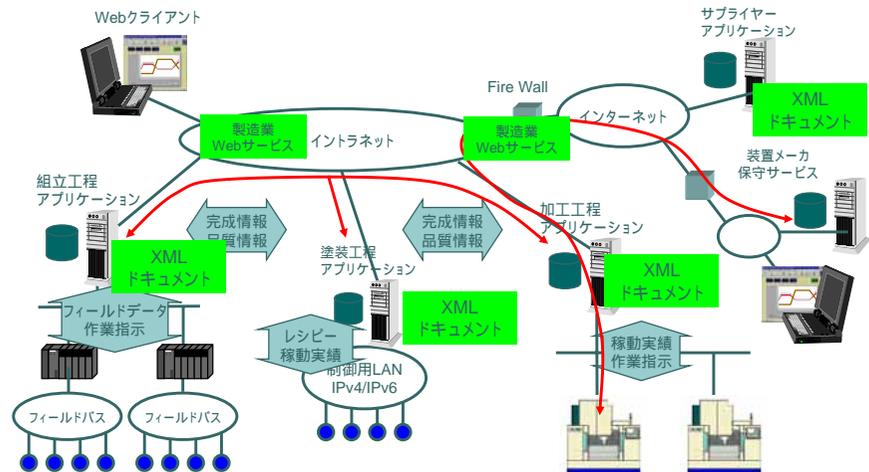
仕様・ガイドライン等の作成手順



MfgXビジョン 生産活動における情報とXML



MfgXビジョン 工程内・工程間における情報連携



MESXプロジェクト

(MfgX, PLSX, FAOP-XML ジョイントWG)

- 生産管理システムの関連ソリューションを提供するシステムベンダ、MESを提供するシステムベンダ、生産機器および計測機器のメーカ、そしてその利用者であり同時に知識ベースでもある製造業が連携し、「柔軟な生産管理システム」の実現と発展を目指す。
- 生産管理システムとMESとをXMLによって連携し、生産管理システムや生産機器、計測機器などのシステム要素の変更によっても、生産指示データの適時な配布、生産実績データ、生産機器の稼働状況、生産物の品質情報などの適時な収集が可能となるように、インターフェースの規約を定める。
- メンバは、PLSX コンソーシアム、MSTC・FAOPのXML情報連携実証モデル専門委員会(FAOP-XML)および製造業XML推進協議会(MfgX)のいずれかの会員として、それぞれの母体での枠組みで活動し、ここで得られた成果をそれぞれ持ち帰るものとします。

製造業文書連携プロジェクト

- 製造業における文書の紙文化を抜け出し、21世紀の製造業として強い日本の製造業を作るにも、現場系の文書と管理系、情報系の文書の相互連携は、ぜひとも必要な課題である。
- XMLを使用することで、製造業における文書の電子化と、現場及び管理系と情報系の相互連携及び再活用が可能になる。
- 活動目的：
製造業における現場系・管理系・情報系の相互文書連携の実現を目指して、必要となる課題を取り上げ、解決策を検討し、これを推進する活動を行う。

フォーラム・シンポジウムの開催



2003年12月5日
米国よりOPC-Fのメンバを
交えてのシンポジウム



2004年6月8日(本日)
事例紹介を中心とした
フォーラム開催

2004年11月16/17日
MOF2004に参画

本資料の内容(図、表、文書等)を、製造業XML推進協議会並びに講演者に無断で転載することを固く禁じます。

製造業XMLフォーラム2004

開催日 平成16年6月8日(火)

主催 製造業XML推進協議会
[財団法人 製造科学技術センター 内]
東京都港区愛宕一丁目2番2号
電話03 - 5472 - 2561